

代表質問

～財政健全化のための市債償還計画～

誠和会

北村 新司



市債の償還計画について

問

節減合理化推進制度、施策の見直しに

努め、歳入に見合った規模の通年型予算であるということだが、市民要望の多い施策・事業を実施するためには、公債費負担が大きくなっていくと考えられる。

今後の市債の償還計画について伺う。

財政課長

市債の残高は、平成

19年度末決算における一般会計ベースで、約227億円でした。これに上水道・下水道等の特別会計の残高を入れると、約300億円になります。しかし、平成20年度末決算における一般会計ベースの市債残高の見込みは、約216億であり、平成18年度と比較すると、約20億円ほど減額できると見込んでいます。

現在の財政推計では、平成22年度の公債費の償還額を約25億円超と見込んでおり、これをピークにその後、平成26年頃まで約23億円前後を償還し、平成26年度末には市債の残高を、一般会計ベースで約130億円とする予定です。平成18年度

と比較すると、約100億円程度の減額を見込んでいます。

健康管理について

問

朝食に関する指導を八街市内小・中学校の児童・生徒にどのよう

に行っているのか伺う。

教育長

本市の児童・生徒の朝食摂取

の状況は、平成19年度に実施した「生活習慣に関するアンケート」結果によると、毎日朝食を食べる者は小学校で約86パーセント、中学校で約74パーセントとなっており、学年が上がるに従って割合が減っています。

市内小・中学校においては、この結果を受け、朝食を食べない理由の背景に生活習慣の乱れ、特に夕食時間や就寝時間が遅くなっていることが挙げられると考え、規則正しい生活の重要性や夜型生活が健康に及ぼす影響についての指導にも一層重点を置き、家庭科・保健体育等の教科に限らず、総合的な学習や特別活動、全校集会等、機会あるごとに学校生活全体を通して、指導・啓発に取り組ん

鉄道の利便性について

問

JR総武本線の快速電車の増発のため

に、こういった努力をしているのか伺う。

市長

本市では、総武本線沿線の山

武市、酒々井町とともに総武本線成東・佐倉間快速電車増発推進協議会を設置して、成東・佐倉間における快速電車増発の実現を目標とした活動を展開しています。

JR千葉支社によると、成東・佐倉間におけるJR利用者、ここ数年、毎年減少していることを理由に、快速電車増発に向けた駅施設等の整備の実現には、何よりもまず利用者の増加が必要であるとの見解が示されています。また、

快速電車の増発、あるいはこのためのホーム延伸をするには、従前からの費用負担割合の原則を見直そうとする主旨の発言も見られ、なかなか協議が進展しない状況です。

今後成東・佐倉間快速電車増発推進協議会のメン

バーと連携を図りながら、協議開始当初の費用負担の考え方を基本としつつ、その実現に向けてJRとの協議を粘り強く重ねていきたいと考えています。

関連質問

古川宏史議員

問

八街南中学校前の市道216号線は雨

が降ると道路が冠水する箇所があり、靴の中を水浸しにして登下校している子どもたちがいると聞いています。早期の対策が必要と考えるが如何か。

建設部長

ご指摘の箇所につい

ては、改善するために、議案第28号八街市一般会計補正予算で工事費を計上しています。

現在、冠水する箇所から、八街南中学校の敷地内にある流末水路までの約280メートルの区間について、自然流下により排水したいと考えています。

また、将来本格的な道路改良を行う場合、表面排水できる構造したいと考えています。

問

工事の実施時期について伺う。

建設部長

平成21年度の第1四

半期をめぐに工事を発注し、夏休みの期間中に工事を進めていきたいと考えています。



歩道のない危険な通学路